

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '83 12月号

教育普及活動の紹介 17

寄贈品コーナー

博物館の玄関に入って、真すぐに奥の方へ進んで行くと、左手に「寄贈品コーナー」があります。

博物館には、多くの市民の方々から、いろいろな資料が寄贈されますので、この「寄贈品コーナー」を使って、1～2ヶ月に1回ずつテーマを決め、寄贈された資料の中から興味深いものを選んで展示しています。

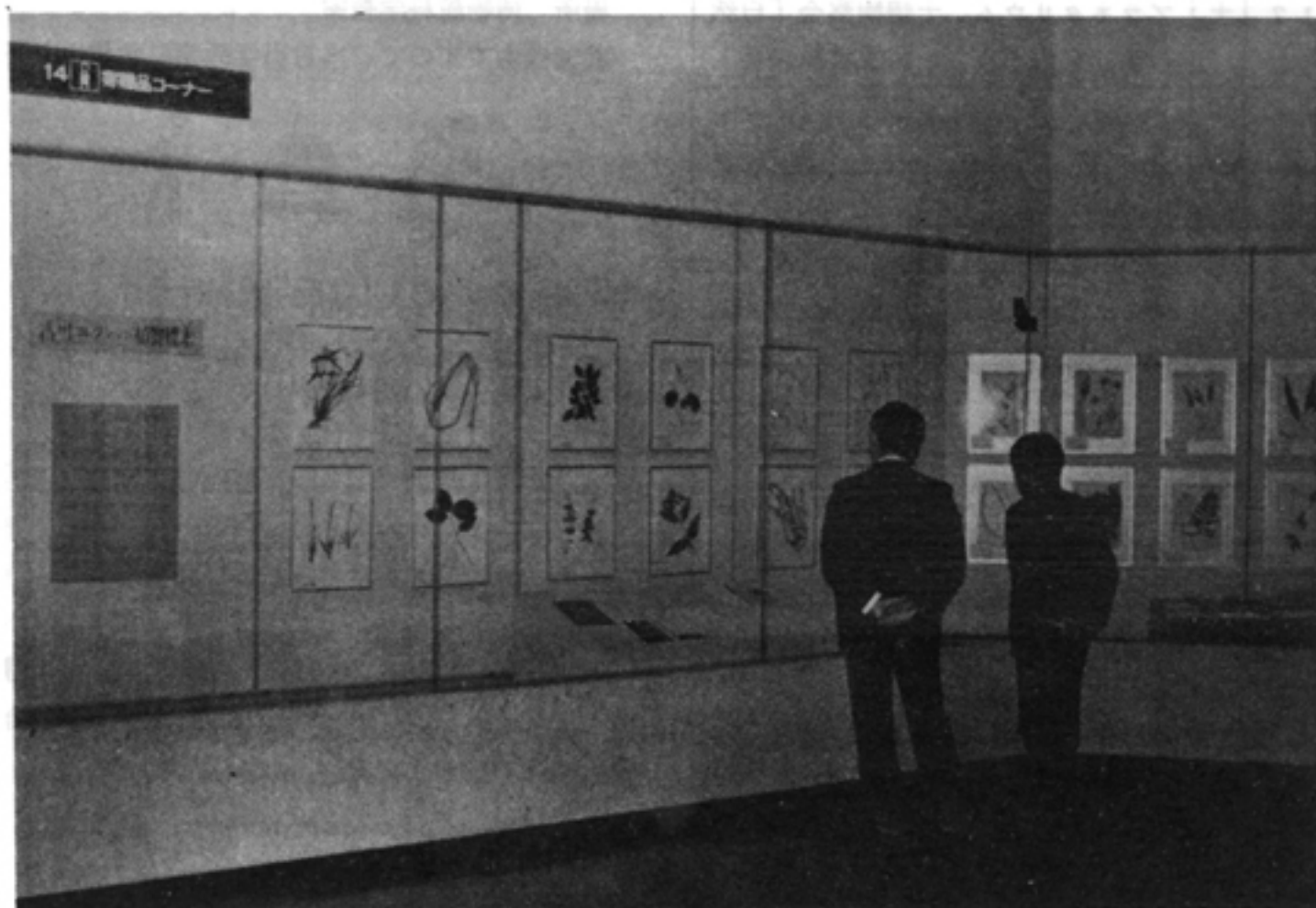
ひとつ例をあげてお話しをしますと、この11月の21日に、千葉県船橋市にお住いの吉川代之助さんという方から、植物標本(ダンボール45箱分、約1万点余り)が寄贈されました。この資料は、秦野、丹沢などの地域資料を大変多く含

んでおり、標本作成にあたっては、国立科学博物館の指導を受けているため、整理や同定(属や種の決定)がしっかりしています。さらに保存状態が優れているため、きわめて貴重な資料といえます。

博物館では、さっそく、これらの中から丹沢などの植物標本約40点余りを選び、12月1日から12月27日まで、この「寄贈品コーナー」を使って、吉川コレクションの概要を紹介しています。

博物館では、この「寄贈品コーナー」を使って、時には、館の行事参加者の作品などを小展示することもあり、大変バラエティーに富んだ展示を楽しむことが出来るコーナーです。

毎月のテーマは、「広報ひらつか」や「はくぶつかん」で紹介しておりますので、是非ご観覧を。



写真：寄贈品コーナーにおける吉川コレクション「植物標本展」の様

12月の行事



1	木	
2	金	
3	土	プラネタリウム、古文書講読会、土曜観察会「自然の新聞を作ろう」
4	日	プラネタリウム、
5	月	(休館日)
6	火	
7	水	
8	木	デッサン教室
9	金	デッサン教室
10	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
11	日	プラネタリウム、地層観察会
12	月	(休館日)
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	プラネタリウム、土曜観察会「自然の新聞を作ろう」、古文書講読会
18	日	プラネタリウム、体験学習「おかざりを作ろう」
19	月	(休館日)
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
25	日	プラネタリウム
26	月	(休館日)
27	火	
28	水	(休館日)
29	木	(")
30	金	(")
31	土	(" ～1月4日まで)

※12月のプラネタリウムは、「宇宙の重さ」をテーマに投影しています。

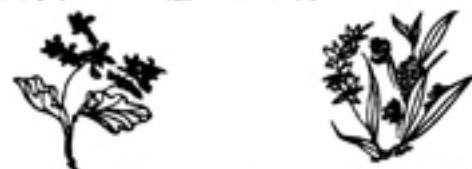
●吉川コレクション・植物標本の展示

このたび、船橋市在住の吉川代之助氏から、氏が半生をかけて収集した植物標本約1万点が、博物館に寄贈されました。この中には、丹沢、箱根など神奈川県内ばかりでなく、全国各地の貴重な資料が数多く含まれています。今回は、そのうちのごく一部を紹介します。

期間 12月1日～12月27日

場所 博物館内「寄贈品コーナー」

内容 丹沢などの植物標本約40点



●星を見る会 「冬の星座と星雲・星団」

冬の星座と、その中に見られる星雲や星団を観察します。

日時 1月27日(金) 18～20時

場所 博物館科学教室

参加自由ですので、当日科学教室にお集まり下さい。



●体験学習 81「星座早見を作ろう」

星座や星をさがす時に便利な、「星座早見盤」の製作をし、使い方を実習します。

日時 1月29日(日) 14時半～19時

(14時半～17時 製作)
(17時～19時 実習)

場所 博物館・科学教室および屋上

材料費 1人200円(当日集めます)

申し込み 往復ハガキで、1月15日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

●年末年始の休館日について

毎週月曜日、12月28日から1月4日、1月15、16日は休館日です。

§ 平塚なうまんぞう物語 §

6 上吉沢の脊椎動物化石

今回、平塚市上吉沢で発見された骨化石は総計127点にのぼり、うち今迄に部位がわかった骨はゾウ20点、シカ24点である。

ナウマンゾウについては、第3大白歯を伴う左右の下顎骨、それより小型の右下顎骨、上顎の第1大白歯、白歯の咬板(2点)、白歯の歯根、白歯咬板の破片(5点)、頸椎、胸椎、右脛骨、腓

骨?(2点)、肋骨?(3点)が現在までに同定された。

シカについては白歯(小白歯及び大白歯)(16点、角座骨(ツノのつけねの骨)、ツノの破片(2点)、第3頸椎、挽骨片、左上腕骨(2点)、右踵骨(かかとの骨)が明らかになっている。このシカは、絶滅して化石としてしか産しない、ニホンムカシジカという種類と考えられる。

ゾウは白歯及び下顎より3頭分が、シカは上腕骨より2頭分が産出したことになる。以下にこれらの骨のスケッチを掲げた。

(学芸員 森 慎一)



1 胸椎、2 頸椎、3 右下顎骨、4 左右下顎骨、5 上顎第1大白歯、6 脛骨、7 腓骨?(以上はナウマンゾウ)、8 角座骨、9 角、10 右踵骨、11 左上腕骨、12 第3頸椎、13 上顎左第1~2大白歯、14 下顎左第3大白歯、15 上顎右第1~2大白歯(以上はシカ)(骨の部位については、はくぶつかん7月号を参照、同定は横浜国立大学 長谷川善和氏による)

図 書 情 報

博物館発行の図書をご紹介します。ここにご紹介する図書は、現在、博物館の受付にて発売しております。

▶ 図録・相模湾の魚と漁撈

相模湾の漁撈活動全体の中で、平塚の漁撈文化を解明。

アメリカンレターサイズ 横 36頁 500円

▶ 図録・街の生きものたち

平塚市内の、タンボボ、ツバメなど身近な街の生きものたちにスポットをあて、都市化が彼らにどんな影響を与えているかを紹介。

アメリカンレターサイズ横 24頁 500円

▶ 図録・飛騨の民具

平塚市が昭和57年10月に高山市と友好都市の提携を結んだのを機に、雪の民具や林業と木地文化を中心とし、高山や飛騨地方の歴史や文化の一部を紹介したもの。

アメリカンレターサイズ横 24頁 300円

▶ 年報3、4、5、6号

各年度の博物館の活動記録をまとめたもので、その運営、教育普及活動、調査研究収集活動の概要を説明。

B5版 110頁前後 各400円

▶ 自然と文化2、3、4、5、6号

平塚市博物館の研究報告。調査研究活動は、博物館の諸活動の根底をなすもので、各年度に実施されたその成果の一部を論文・報告として掲載したもの。

B5判 135頁前後 550～700円

▶ 家と村II

県下最大の穀倉地帯、大住郡広川村の成立と農民、村の組織と秩序、民俗、年中行事などを研究。

B5判 65頁 200円

▶ ガイドブック1 相模川河口の自然

相模川河口の観察記録と写真により、これから河口の自然に親もうとする人のために作ったガイドブック。

ドブック。

B6判 71頁 300円

▶ ガイドブック2 ローム層をさぐる

野外観察のためのガイドブックとして、大磯丘陵に厚く分布するローム層をとりあげ、土地のいたちや火山活動の歴史を紹介。

B6判 94頁 400円

▶ ガイドブック3 四季の星座観察

平塚で見える星座と星たちを、春夏秋冬に分けて解説。その探し方や観察場所、観察ルックなどを紹介。

B6判 60頁 300円

▶ ガイドブック4 地層と化石

ガイドブック2「ローム層をさぐる」の第2弾。大磯丘陵東部及び南部に認められる化石を含む地層を取り上げ、化石などから古環境や土地の生いたちを紹介。

B6判 94頁 400円

▶ 大磯丘陵の地質2

吉沢層から産出する総計55科84属152種に及ぶ、貝化石、珪藻化石、花粉化石をもとに、大磯丘陵の地質の解明をめざした研究報告書。

B5判 85頁 900円

▶ 展示は語る

平塚市博物館の各展示コーナーについて、最近の調査研究の成果をとり入れながら、やさしく解説を試みた展示解説書。

B5判 77頁 500円

(次号につづく)

受入寄贈資料

- | | | | | |
|-----|---|-----------------|-------------|--------|
| 11. | 5 | ミノ | 平塚市老松町11-16 | 大 |
| | | | | 大 滝明子様 |
| 15 | | 神天、竜紋入紺染布など | 平塚市小 | |
| | | 鍋島3 | 磯村名男様 | |
| 21 | | 植物標本(ダンボール45箱分) | | |
| | | 千葉県船橋市丸山町2-3-21 | | |
| | | 吉川代之助様 | | |

御協力を深く感謝いたします。

は く ぶ つ か ん

Vol.8 No.9 通巻92号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ③3500

発行、平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel.33-5111